

# しんとみ

## ニュース

### ASIAGAPを 宮本農園が取得

### コロナ対策をした 避難所の運営訓練

### 新田の読み聞かせ団体 文部科学大臣表彰

### 町内小中学校が 1か月ぶりに再開

### ライチの収穫が 始まっています

4月20日(月)から休校していた町内の小中学校が、緊急事態宣言の解除を踏まえて5月25日(月)から再開しました。約1か月ぶりの登校とあって、富田小学校では「友達と会えて楽しい」と喜ぶ子、少し緊張した面持ちの子、4月に植えたトマトに熱心に水をかける子など、さまざまな姿が見られました。

ライチが収穫の最盛期を迎えています。J A児湯果樹部会会長の森哲也さんによれば、今年の実が大きく、収穫量も例年より多くなる見込み。味の方も申し分なく、すっきりとした甘みにほどよい酸味がアクセントとなっています。

ライチの収穫は7月いっぱいまで続きます。

宮本農園は有機JASも取得しており、代表の宮本恒一郎さんは「2つの認証を取得していることが農産物への信頼につながると思う。安心安全のナンバーワンを目指したい」と語っていました。

5月29日(金)、新型コロナウイルス対策に基づいた避難所運営訓練が、総合交流センターきらりで行われました。

一般避難室の「密」を防ぐため、1人あたりのスペースを広めに確保して設営。個別避難室では実際に使用する段ボールベッドも組み立てました。入り口にはサーモグラフィーを設置して体温測定を行い、体調不良者がいた場合の対応や個別避難室への誘導方法を確認するなど、災害の発生に備えました。

新田学園で読み聞かせ活動に取り組む団体「ピーターパン」が、令和2年度子供の読書活動優秀団体として、文部科学大臣表彰を受けました。

ピーターパンは、小学部1年生から中学部2年生を対象とした月1回の読み聞かせを、21年にわたり実施。さらに、この活動に影響を受けた中学3年生がノウハウを学び、小学生に向けて読み聞かせにチャレンジするなど、読書活動の輪を広げたことが評価されました。

